



こどもクリニックニュース

NO. 161 平成25年6月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成25年7月まで)

6月	19日	(水)	内科健診 1才半健診	第四保育所 加須・保健センター
	27日	(木)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター
7月	24日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

平成25年度から、騎西地区の乳幼児健診にも加わることとなりました。

毎年5～6月は、学校や幼稚園・保育園の内科健診が集中する季節です。私も校医や園医を担当しているため、日程が立て込んでいますが、これらの健診は水曜日を利用しているため、通常の診療には支障ありません。

休診の予定

8月18日(日)～25日(日)は休診です。
9月7日(土)も臨時的休診となります。

水曜日は一日休診です。

ただし、お盆期間は通常どおり診療します。
8月14日(水)も、午前・午後ともに診療します。



小児科休日診療の予定

加須市では、11月から翌年3月まで、元日を除く日曜・祝日に小児科休日診療が実施されました。4月から10月までは祝日のみの診療となります。

7月(海の日)の当番は以下のとおりです。

平成25年7月

15日	(月)	ともながこどもC
-----	-----	----------

診療(受付)は9:00～12:00です。

医療機関の都合により当番が変更される場合があります。ご利用の際は、加須市の広報誌やホームページなどで、最新情報をご確認ください。

感染症の情報

手足口病が保育園児を中心としてかなり流行してきました。また一部の学校でプール熱が流行しています。いずれも夏に大流行する病気ですので、今後の注意が必要です。

溶連菌感染症もやや増えているようです。

<手足口病>

その名のように、手のひら、足のうら、口の中に、発疹や小さな水ぶくれができます。おしりやひざにできることもあります。毎年夏を中心に、乳幼児の間で流行し、何回もかかることがあります。

熱は出ないか、出たとしても微熱程度のことが多いです。手足の発疹は痛がりませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。原因はウイルスです。

1週間も過ぎれば発疹や口内炎はなくなりますが、その後も体の中にウイルスは残っています。人によっては、1ヶ月くらいはウイルスが残っているとされており、また、ウイルスをばらまいているのに、全く症状のない方もいます。

したがって、発疹のある患者さんを短期間だけ隔離しても、流行予防には役立ちません。登園・登校の目安は「本人が元気かどうか」で判断します。

手洗いは、すべての感染症の予防にとっても有効です。

熱中症に注意

暑い日が増えて、湿度も上がってきました。このような時期、少し動き回っただけでも、お子様の体温は一時的に上昇します。

夕方になって急に熱が出ても、元気があり、水分がしっかり飲めるようなら、涼しくしながら一晩様子を見ることも一つの対処法です。

厚着は禁物ですよ！



風疹の流行とワクチン接種について

関東や近畿地域の都市部を中心に風疹が流行していることが話題になっていますが、これから全国へ流行が拡大する可能性が高いと推定されています。

最近の風疹の患者さんの多くが、ワクチン接種を一度も受けていない20代から40代の男性ですが、流行そのものが続く限り、免疫のない人は誰でも感染してしまう可能性があります。

<風疹の症状>

比較的軽度の発熱と体に淡い発疹(ブツブツ)が出て、3日くらいで回復するというのが典型的な経過です。症状だけで「風疹」と診断するのは結構難しいものです。注意深く診察すると、眼が充血したり、首の周りのリンパ腺が腫れることがあります。血液検査をすれば正確な診断ができます。

<一番の問題>

ほとんどの方は元気なままで終わる病気ですが、妊娠初期の女性が風疹にかかると、お腹の中の赤ちゃんに先天異常が起こることがあります。これが最大の問題です。予防するには、妊娠する前にワクチン接種を受けることしかありません。また社会全体で風疹の流行を抑えるためには、成人男性もワクチン接種を受ける必要があります。任意接種なので有料ですが、是非ご検討ください。

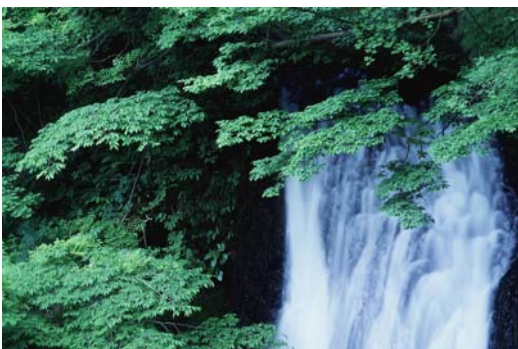
当院では成人の方へのワクチン接種も行っています。

乳幼児のワクチン接種に支障が出ない範囲でお受けしていますが、現在のところは成人の接種希望者は少ないため、おおむねご希望通りに接種できています。

なお、風疹単独ワクチンは流通量が少なく入手困難であるため、麻しん風しん混合ワクチンを使用しています。

当院の接種料金は 1回8,000円です。

日本医師会も成人の方へのワクチン接種を手助けするため、ワクチン接種を実施している医療機関のリストを作成中です。6月中旬には日本医師会や都道府県医師会のホームページに掲載されることと思います。



このブツブツは、食べ物のアレルギー???

かわいいお子様の体に、見慣れないブツブツを見つけた時「もしかしたらアレルギー?」と考えて、あわてて来院される方を見かけます。実際に見てみると、「虫刺され」だったり、「あせも」だったり、「ただのカブレ?」としか考えられないケースが多いものです。アレルギーについて様々な情報が入り乱れ、皆様が不安になっているような気がします。

食べ物のアレルギーを疑うのは

- ① ある食材を食べると、何度も同じ症状が出る。
- ② その食材を食べなければ、症状が出ない。

という「因果関係」がある場合です。1回だけの出来事で「アレルギー」を考えるのは早合点です。

例外として、典型的なジンマシンならば「何らかのアレルギー」を強く疑います。ただしその場合でも、原因は食べ物だけとは限りません。気温の変化、ストレスなどでもジンマシンは出ることがあります。何度も繰り返したときにじっくりと考えたうえで、必要なら検査で確かめるという手順になります。



花粉症

空き地や道端で、雑草が生い茂ってきました。葉っぱが細長い雑草はすべて「イネ科」に分類される雑草で、これからしばらくの間花を咲かせます。(花の色は緑色なので目立ちません)。

街路樹や庭木として植えられている、どんぐりやシラカバの木の仲間もちょうど今ごろが満開となる季節です。

このような雑草や樹木も「花粉症」の原因となります。心当たりの方は一度検査で確かめてみてはいかがでしょうか。

こどもクリニックニュースの
無料郵送サービスをしています!

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150